

「みらい育成アワード2024～知見、実践、その想いを分かち合う～」
グランプリ受賞報告
カテゴリー4：全学科混成チームで地域課題解決の
アイデアを創出する
「やまぐち未来デザインプロジェクト」

Award Report on “Award 2024” Granted by Mitsubishi Memorial Foundation for Educational Excellence

Category 4: “Yamaguchi Future Design Project,” in which teams of students from all departments work together to develop ideas for solving local problems

池田 史子
IKEDA Fumiko

基盤教育Ⅳ群の「やまぐち未来デザインプロジェクトⅠ・Ⅱ」は、2023年度から3年間の予定で、一般財団法人三菱みらい育成財団から、カテゴリー4「21世紀型教養教育」として助成を受けている。2024年9月28日、JPタワーホール（東京都千代田区）において、「みらい育成アワード2024～知見、実践、その想いを分かち合う～」が開催され、2023年度に採択された助成先の中から、カテゴリーごとに、優れた活動・成果に賞が贈られた。本稿は、グランプリの受賞スピーチを報告するものである。



スライド1

1. はじめに

みなさん、こんにちは。公立大学法人山口県立大学、基盤教育担当の学長補佐をしております池田史子と申します。よろしくお願ひします。大変うれしい賞をいただきましてありがとうございます。大学を挙げて喜んでおられて、本日は理事長の岡とともに参加させていただきました。

本学は、3学部5学科からなる入学生330人程度のコンパクトにまとまった大学です。本学は、このスライド（スライド1）にございますように、カテゴリー4「21世紀型教養教育」において、「全学科混成チームで地域課題解決のアイデアを創出する『やまぐち未来デザインプロジェクト』』という題目で助成をいただきました。

2. プロジェクトの特徴

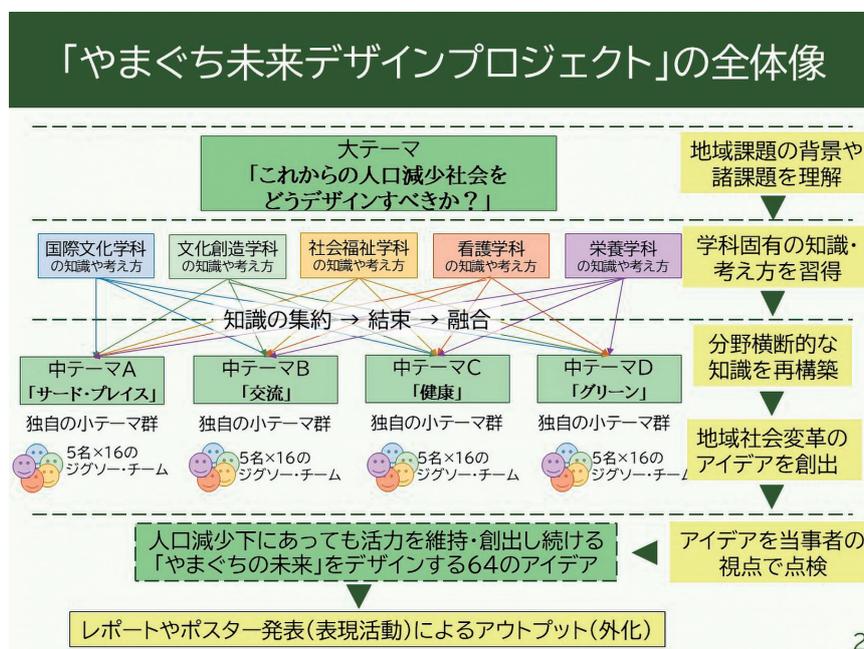
プロジェクトの特徴は、題目にもございますように、すべての1年生が必修科目として取り組んでいること、5学科の学生が混成チームを組み、それに伴走する教員も多様な専門を持つ教員を組み合わせていること、デザイン思考のプロセスを踏まえて、エビデンスに基づく発想を行っていることです。

3. プロジェクトの全体像

プロジェクトの全体像は、このようになっております（スライド2）。山口県は、「人口減少社会」の最先端の地です。山口県内唯一の県立大学として、その使命を果たすために、「これからの人口減少社会をどうデザインすべきか？」ということをも、プロジェクト全体の大きなテーマとしております。

前期の前半には、事前課題・事後課題を確実にしながら6つの講演^{注1)}を聴講して、背景となる知識をしっかりと理解するというセクションを設けております。前期の後半には、学部学科特有の知識やものの見方考え方を身に付ける授業も行います。

いよいよ後期になりますと、知識を集約して、結合して、新しい融合が起きますように、5学科混成のチームを編成します。編成した64のチームを、2023年度は、「サードプレイス」「交流」「健康」「グリーン」の4つの中テーマに分けまして、活動を行いました。



スライド2

4. 授業風景

これは、2023年度の授業風景です（スライド3）。

左上は、課題解決のためのアイデアの根拠を得るひとつの手段として、「地域経済分析システム RESAS」の使い方を学んでいるところです。これ以外にも、県や市町のデータベースを使うこともあります。

右上のように、多様なゲストとアイデアの交換を行って、多面的・多角的視点の獲得を目指しております。

左下は、最終回のポスター発表です。学修成果を外化し、次の学びへつなげるための活動です。

最後に右下ですが、授業外のピアサポート活動の様子です。授業内だけではなく、授業外にも相互作用的学びを発生させて、良好な相互依存の経験を持つために、2年生3年生を中心とした上級生が、1年生に情報検索の方法、レポートの書き方、ポスターの作り方などを教えています。これは、集まってくれた1年生たちが先輩の授業を受けているところです。

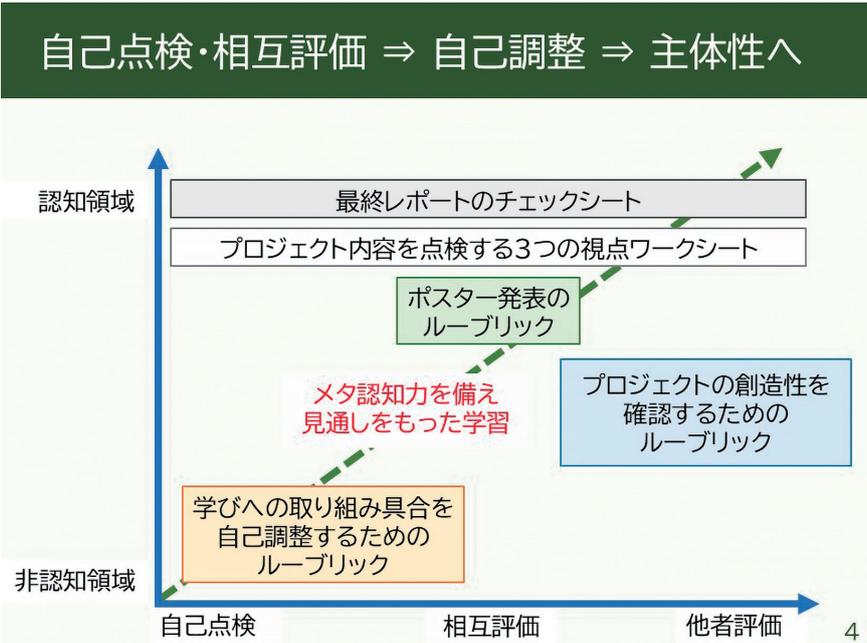
2023年度の授業風景



スライド3

5. 学修成果の可視化

このようなプロジェクトを実施することによって、学習者にどのような変容が起きたのかを、教員が評価するだけではなく、学習者が自己把握し自覚しながら、身に付けることが期待されている学修成果の特徴に合わせて、多様な方法で検証を行っております。カリキュラム改革の検証のためには、カリキュラム改革の1年前からデータを取って、前後を比較しているのですが、この図（スライド4）にあるのは、プログラムを受けたことによって学習者にどのような変容が起きたのかを評価するシステムの全体像です。「認知能力～非認知能力」を、「自己点検・相互点検・他者評価」するために、さまざまなチェックシートやルーブリックを用いまして、検証を行っております。このような評価を行うことによって、メタ認知力を伴った学習が行われると思われまます。これが、ルーブリックの例です（スライド5）。



スライド4

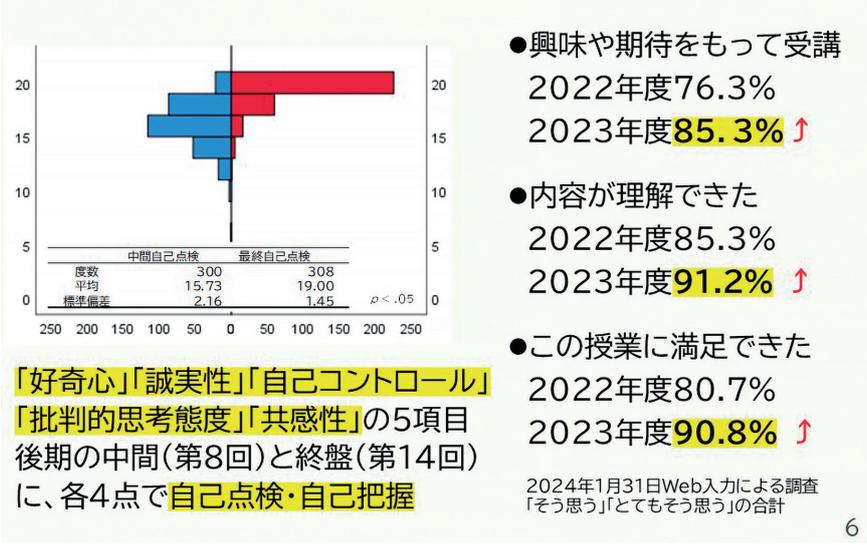
自己点検・相互評価 ⇒ 自己調整 ⇒ 主体性へ

■「学びへの取り組み具合を自己調整するためのルーブリック」(自己点検)					■「ボスターツアーのルーブリック」(相互点検)					
チーム番号〔 〕	学籍番号〔 〕	氏名〔 〕			チーム番号	改善の余地がある (1点)	一般的 (2点)	良い (3点)	大変素晴らしい (4点)	得点
好奇心	改善の余地がある (1点)	ある程度できている (2点)	良くできている (3点)	非常にできている (4点)	内容の新規性	作り出された成果物が、意図される目的 (課題解決や課題への対応など) に、役に立たない。	作り出された成果物が、意図される目的 (課題解決や課題への対応など) に、ある程度役立つ。	作り出された成果物が、興味深く、新しく、または有益なものであり、意図される目的 (課題解決や課題への対応など) に貢献する。	作り出された成果物が、群を抜いて興味深く、新しく、または有益なものであり、意図される目的 (課題解決や課題への対応など) に積極的に貢献する。	
誠実性	取り組むべき課題や役割は認識しているが、いざ実際に気がとれられ投げ出したりする	中チーム〔 〕プロジェクト名〔 〕	チーム番号〔 〕	氏名〔 〕		色をまとめた字設定・内容になっていない。	課題をふまえた字設定・内容になっている。	ある程度課題をふまえた字設定・内容になっているが、十分ではない。	十分に課題をふまえた字設定・内容になっている。	
自己コントロール	いつも、目標やの達成よりも、の感情や行動先で決めてしま	プロジェクトを担当する3つの役割	指導事項	修正・改善		フォント、配色、フォント等が、見出しが不明瞭になる。	レイアウト、配色、フォント等が、見出しが不明瞭になる。	レイアウト、配色、フォント等が、見出しが不明瞭になる。	レイアウト、配色、フォント等が、見出しが不明瞭になる。	
批判的思考態度	アイデアを創るためであって自分の意見を押し通す、誤った情報に基づいた判断をします。	経済的実用性				アイデアがほとんどない。アイデアがわかりきったものである。	アイデアがありきたりである。同じ又は類似したアイデアや学問論について、異なる文脈や学問分野で表現されたアイデアが、見出しが不明瞭になる。	アイデアは、重要な概念を表現して、複数の文脈や学問分野にまたがる多くの新しい手立てを考案している。		5
共感性	創出したアイデアは、採り上げがりのであり、当事者立場になっていない。	社会的実用性								

スライド5

ひとつだけ例を挙げますと、「好奇心」「誠実性」「自己コントロール」「批判的思考態度」「共感性」が、授業の中盤と終了時でこのように伸びているということがわかりました。授業評価では、理解度・満足度も上昇しております (スライド6)。

2023年度の自己点検結果・授業評価結果



スライド6

今後とも学習者の期待に添えるように、授業改善に努めて参りたいと思っております。ありがとうございました。

【選考委員からのコメント】

1年生全員が、全学科混成のチームを編成し、多様な専門性を有する教員の伴走のもと、地域課題解決のアイデアを創出する教育プログラムです。データや情報を活用した発想を行い、学内外に広く理解を得て、学外の多彩な

人材からも助言を受けるなど、理念がカリキュラムに落とし込まれ、それを実施する仕組みが機能しています。学修成果を可視化し、測定する仕組みも堅実に構築されており、他のモデルとなるプロジェクトとして、高く評価されます。

注

- 1) 「人口減少社会」を専門とする外部講師による基調講演と5学科の教員からの話題提供

引用サイト

一般財団法人 三菱みらい育成財団「みらい育成アワード2024」

<https://www.mmfe.or.jp/award/award2024.html> (2025.1.1 最終アクセス)

経済産業省、内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局「地域経済分析システム RESAS」<https://resas.go.jp/> (2025.1.1 最終アクセス)